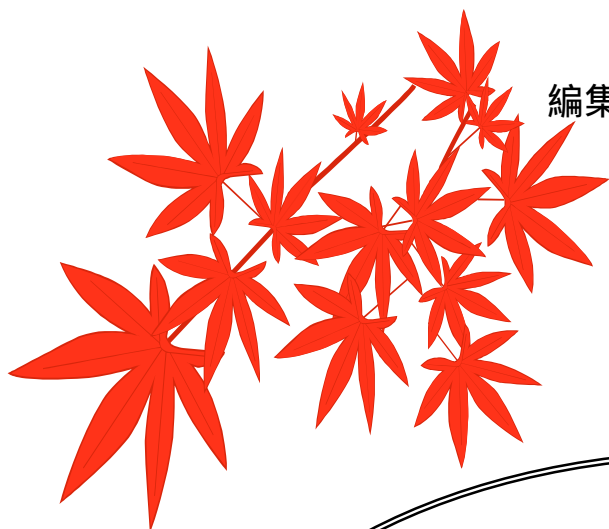




VOL.50 autumn

2008年9月30日



編集 / 釜石市総務企画部少子化対策・男女共同参画推進室

〒026-0024 釜石市大町3-8-3 青葉ビル

TEL/FAX 0193-22-6002

URL ; <http://www.city.kamaishi.iwate.jp/>

E-Mail ; [Syousi@city.kamaishi.iwate.jp](mailto:Syousi@city.kamaishi.iwate.jp)

特集「男女共同参画社会についての意識調査結果(速報)」

報告「釜石市男女共同参画セミナー」

「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー」

さんかくニュース

「『女性に対する暴力をなくす運動』の実施」

「『思春期講演会』の開催」

インフォメーション

「女性と親子のための…なんでも相談所開設」

「れでいす・ねっとわーく」ほか

# 特集 男女共同参画社会についての意識調査結果

## <速報>

平成 7 年 3 月、女性自ら一層の意識の確立と行動の必要性を説いた「女性の地位、福祉の向上に関する提言書」が釜石市女性懇談会から市長に提出され、それを受けて平成 10 年「男女共同参画プランかまいし 21（計画期間：平成 10 年度～平成 19 年度）」を策定しました。

その後、プラン策定から 5 年が経過した平成 14 年に「男女共同参画社会について意識調査」を実施し、この調査結果と男女共同参画社会基本法並びに岩手県男女共同参画推進条例の基本理念等を踏まえ、プランの見直しを行い、平成 16 年に「新男女共同参画プランかまいし 21（計画期間：平成 16 年度～平成 19 年度）」を策定、諸施策を推進してきました。

そして、平成 20 年 3 月をもって当該プランの計画期間が満了したことを受け、現在釜石市では、新しい男女共同参画計画の策定作業を進めています。

本誌前号（VOL.49）でもお知らせしましたが、新しい男女共同参画計画では「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」を重点的に取り組むべき課題として取り上げていきたいと考えていますが、その一方、平成 20 年 3 月に開催された「釜石市男女共同参画推進協議会」において、次期計画については、

- 事業の実施が男女共同参画の推進に結びつく、わかりやすい指標の設定
- 市民や若い人の意見を取り入れた目標
- 地域で支え合う仕組み

の 3 点について考慮して欲しいといった意見も出されており、この点についても十分踏まえた内容にしていきたいと考えています。

こうした中、この度、新しい男女共同参画計画策定の基礎資料とするため、市民意識調査を実施しました。

### <調査方法>

- ・調査対象：市内在住の 18 歳以上の男女（ただし高校生は除く）
- ・調査方法：直接配付・回収
- ・実施期間：平成 20 年 7 月 1 日～7 月 31 日

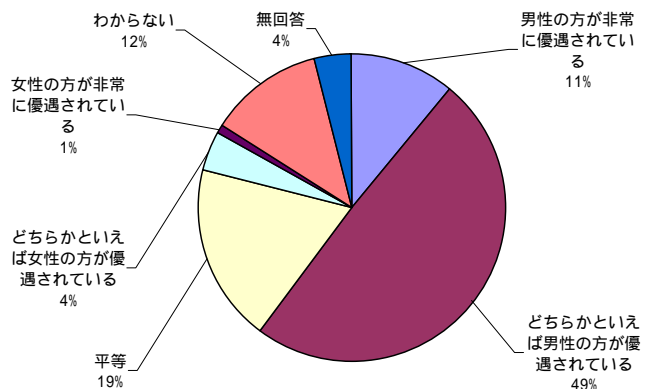
調査の結果、約 300 件（男女各 150 件）の有効回答を得ることができました。

平成 14 年に実施した調査結果と比較して、全体傾向的にはそれほど大きな変化は認められませんが、「男女平等」と感じる人の割合が、13%から 19%に増加しております。

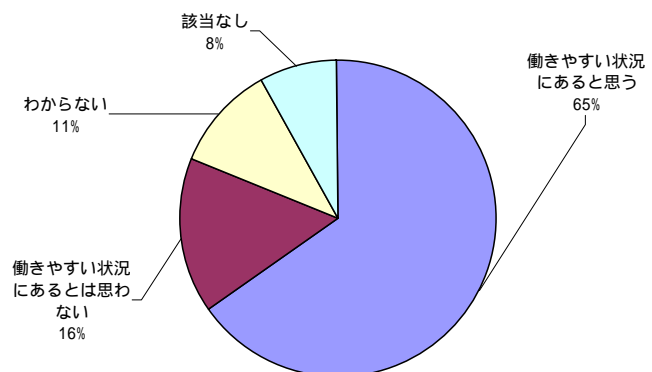
また、昨今、少子化問題がクローズアップされ、将来的な生産労働人口の減少が懸念されている中、HDI（人間開発指数）が世界的に高水準である我が国においては、今後更に女性の就労機会の確保に努めていく必要がありますが、これに関連し「女性が働きやすい」と感じる人の割合が、39%から 65%に大幅に増加しております。

引き続き調査結果の分析等を進め、時代のニーズに即したより良い計画を策定していきたいと考えています。

男女平等意識  
(社会全体)



職場における女性の働きやすさ



## 報告1

# 釜石市男女共同参画セミナー

期日 平成20年8月6日(水)18:15~19:30

会場 釜石市青葉ビル第1、2研修室

講師 もりおか女性センター センター長 平賀圭子(ひらが けいこ) 氏

演題 「みんなが主役のまちづくりのために ~男女共同参画社会の形成に向けて~」

男女共同参画は、人権、医療、福祉、教育、労働、環境、防災等あらゆる分野にわたる課題であり、行政の施策全般に男女共同参画の視点を盛り込んでいく必要があります。

このため、釜石市職員に対する学習機会提供の一環で、岩手県における男女共同参画社会形成の推進役である平賀先生を講師としてお招きし、男女共同参画セミナーを開催しました。

平日、夕刻からの開催にも係わらず、市各部署から約50名の職員が参加し、極めて有意義な勉強を行うことができました。

平賀先生、ありがとうございました。



### 参加者の声

- ・災害の避難所では、報道されないだけでレイプが多いという話はショックだった。防災計画に女性の視点がないという話を聞いて、今後は女性の少ない分野にこそ、女性の視点を取り入れていくべきと思った。(女性)
- ・「できるだけ楽をして給料をもらえれば良いと考える女性職員がいる。」という部分については同感。公平を期す上から、勤務評価が必要と考える。(男性)
- ・女性だからという理由や、出産や育児や介護という理由で職業の場を奪われることがないように、市として何を取組むかを真剣に考え、実行する必要があると感じた。(女性)
- ・女子差別撤廃条約について、差別はいけませんが、区別は必要と考えていた自分にとって違和感があった。(男性)

## 報告2

# ワーク・ライフ・バランス推進セミナー釜石地区

期日 平成20年8月7日(木)14:00~16:00

会場 釜石ベイシティホテル「三がん島」

講師 (株)富士通総研 主任研究員 渥美由喜(あつみ なおき) 氏

演題 「ワーク・ライフ・バランス ~経営戦略の観点から~」



岩手県、(財)岩手労働基準協会、(社)全基連岩手県支部の主催(後援:釜石市、大槌町)により、ワーク・ライフ・バランス推進セミナー釜石地区が開催されました。

国内でも有数の少子化対策の専門家である渥美先生が、企業の経営者や人事担当者等に対し、中長期的な企業業績拡大のためにはワーク・ライフ・バランスが必要である旨熱弁されました。

その後、釜石市より、釜石地区の取り組みとして、釜石市子育て応援カード(かまりンカード)事業の概要説明を行いました。

④ ~ 平成 20 年度「女性に対する暴力をなくす運動」の実施

内閣府男女共同参画推進本部では、11月12日から25日（女性に対する暴力撤廃国際日）までの2週間、「女性に対する暴力をなくす運動」を実施します。

配偶者からの暴力、性犯罪、売買春・人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等は女性に対する暴力で、決して許されないものです。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

⑤ ~ 平成 20 年度「DV防止セミナー」の開催

岩手県青少年・男女共同参画課と法テラス岩手は、10月10日（金）13:30~16:30、エスポワールいわて（盛岡市中央通1-1-38）に於いて「DV防止セミナー」を開催します。

当日は「DV被害者とその子どもへの支援」と題し、お茶の水女子大学大学院教授の戒能民江氏よりご講演を頂きます。

参加ご希望の方は、9月30日までに、岩手県青少年・男女共同参画課（電話：019-629-5348）にお申込みください。

⑥ ~ 平成 20 年度「思春期講演会」の開催

釜石市少子化対策・男女共同参画推進室では、11月に、中学生を対象に、生命尊重・人間尊重、男女平等の精神に基づき、自分自身を大切にするとともに、相手の心身の健康についても思いやりを持って望ましい行動をとれるようにすることを目的に、岩手県立大船渡病院副院長の小笠原敏浩氏を講師としてお招きし、思春期講演会を開催します。

今年は、釜石東中学校と甲子中学校の2校で開催の予定です。

INFORMATION

女性と親子のための・・・なんでも相談所開設

宮古人権擁護委員協議会（釜石市・大槌町・宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村・普代村・川井村）と盛岡地方法務局宮古支局では、女性と親子のための・・・なんでも相談所を開設します。

と き 平成 20 年 10 月 18 日（土）  
午後 10 時～午後 3 時  
ところ 宮古市民総合体育館 3 階特設会場

職場や学校でのいじめ、DV、サラ金問題など、なんでもご相談ください。

【お問い合わせ】  
盛岡地方法務局宮古支局  
TEL：0193-62-2337

情報・アイデア 募集中！！

市少子化対策・男女共同参画推進室では、**れでいす・ねっとわーく**掲載用の情報・アイデアを随時募集しています。

募集内容は、「こんな団体がある、こんなすてきな人がいる」といった情報提供、「こんな特集を組みたい」といったアイデアなどです。

意見・感想もお待ちしています。

【お問い合わせ】

市少子化対策・男女共同参画推進室  
TEL/FAX：0193-22-6002  
E-mail

[Syousui@city.kamaishi.iwate.jp](mailto:Syousui@city.kamaishi.iwate.jp)

件名に「れでいす・ねっとわーく宛」とご記入ください。）



ワーク・ライフ・バランスを実現することは、私たち、みんなにとって充実した生活を送ることに欠かさないものですが、思考と行動は相反しています。（K.I）

秋桜が秋の空に映える季節となり、今年も合唱の練習に励んでいます。楽しい仲間たちと大きな声を出し、心ひとつに歌うことはストレス解消にも役立ちますよ。（Y.C）

先月ワーク・ライフ・バランス推進セミナー釜石地区に参加してきました。ワーク・ライフ・バランス推進のためのワケは、「相手」を思いやるのではなく、「相手の時間」を思いやることなのだそうです。（T.N）